

「ソロプチミストの使命」に関してよく聞かれる質問

ソロプチミストはどうして、女性と女児の生活を向上させることに焦点を当てているのですか？

「ソロプチミスト」という言葉は、ラテン語で「女性にとって最良のもの」という意味で、これが、私たちの組織が発足した1921年以來ずっと私たちが目指してきたことです。ソロプチミストは、事業および専門職に従事する女性たちのボランティア組織であり、地域社会と世界中で女性と女児の生活を向上させるために努力しています。この目標を掲げているのは、女性と女児が私たちの助けを必要としているからです。男性も女性も、男児も女児も、貧しい生活をし、差別に直面し、困難を克服しなければならないことはあります。けれども、歴史的に見ると、世界中どの国でも、女性と女児は、女性であるというだけの理由で更に大きな困難や差別に直面しています。次のような明確な事実があります：

女性：

- 3人のうち1人の女性が、一生のうちに、暴力を受けたり、セックスを強要されたり、その他の形で虐待を受けています。
- 女性は世界中の労働時間の3分の2に当たる時間働いていますが、世界中の所得の10パーセントしか得ていず、世界中の資産の1パーセントしか所有していません。
- 5億5千万人の低収入労働者のうち、3億3千万人（60パーセント）が女性です。
- 世界中で女性たちが無料で提供している介護は毎年、約11兆ドルに相当します。
- 7億5千9百万人の識字能力のない成人の3分の2は女性です。
- 40～70パーセントの殺人被害者の女性は、夫か親しいパートナーによって殺されています。
- 世界で1億3千万人近くの女性が、女性器切除を経験しています。
- 10人に8人の女性従業員の雇用が、脆弱であると思われます。

女児：

- 学校に行けない1億1千万人の児童のうち、約60パーセントが女児です。
- サハラ以南アフリカのいくつかの国々では、思春期の女児のHIV感染率は思春期の男児の5倍となっています。
- 毎年、約146,000人の十代の女児が、妊娠や出産に関連する健康問題で死亡しています。
- 毎年、3百万人の女児が、女性器切除をされる危険に晒されています。
- いくつかの研究では、80パーセントもの女児が学校でハラスメントを受けています。
- 4人に一人の女児が、5年生まで到達しません。
- 女児が売春の世界に入る平均年齢は12～14歳です。

子供たちも弱い存在です。ただ女児ではなく、子供たちに焦点を当てないのは、なぜですか？

子供たちが弱い存在であり、自分自身を守る方法をほとんど持たないか、全く持っていない場合があることは事実です。けれども、女児は女児特有の難題や困難に直面します。性差別はしばしば幼い時期から始まり（時には、生まれる前から始まるケースもあり）、生涯にわたって続きます。女児は世界中で貶められ、差別されています。

現在、一日の生活費が1ドル以下という赤貧の中で暮らしている12億人の人々のうち、70パーセントが女性です。多くの女性たちにとって、貧困の周期は幼い頃から始まります。多くの文化において、女兒はほとんど価値がないか、全く価値がないと思われており、そのため、貧しい家庭では女兒を教育することはほしくないという選択をすることがしばしばあります。教育がなければ、女兒は生活できるだけの賃金が得られる仕事を見つけれられる可能性が少なくなり、一生貧しいままでいる可能性が高くなります。

性差別の蔓延のため、女性器切除、早婚、女乳児殺害、出産前の性別選択などといった有害な習慣が今も広く行なわれています。更に、女兒の価値が認められないことから、親たちによって売られてしまい、隷属的拘束や性的奴隷の生活を始めることもあります。女兒は更に、食糧分配において差別されたり、保健医療を受けられないなどの経験をし、それが女兒の生存率を低める結果となっています。

母親としての女性の役割に焦点を当てないのは、なぜですか？

母親であることは、女性が果たす役割として重要なものです。けれども、全ての女性たちが母親になるわけではなく、社会で女性たちが果たしている様々な役割や、彼女たちが直面する多様な問題を認識することも重要です。私たちは全ての女性と女兒を助けることに意義があると信じています。国連は女性と女兒の諸問題に対処するために2つの別々な組織（ユニフェムとユニセフ）を設けています。ユニセフ（国連人口基金も）も、母親としての女性に焦点を当てています。ソロプチミストは、母親としての役割にある女性と、個人としての女性の両方を援助しようとしていますし、また、女兒たちに特有のニーズに関連した形で女兒をも助けようと努力しています。

ソロプチミストは、母親たちに特有のニーズがあることを認めています。私たちはまた、ソロプチミストが母親を助ければ、彼女の子供たちをも助けることになり、それは重要なことだということも認識しています。例えば、ドメスティック・バイオレンスの被害者の子供たちを対象に活動するように、クラブに勧めています。暴力の連鎖を断ち、暴力はいけないうことだと子供に教えることによって、ドメスティック・バイオレンスの被害者の数は将来減少していくことでしょう。更に、貧困のうちに住むシングルマザーも、自分自身のためだけでなく子供たちのためにも支援が必要です。

男性と男児も、性差別を撲滅するのに重要な役割を果たしています。どうして、ソロプチミストのプログラムに男性と男児を含めないのですか？

男性と男児も性差別の撲滅に重要な役割を果たします。男女共同参画は、女性と女兒の価値に関する社会の態度が変わらない限り達成できません。ソロプチミストは、「北京行動綱領」（1995年に第4回世界女性会議で採択された）を支援しています。この綱領では、女性と女兒の地位を向上するために女性、男性、女兒、男児が協力するように教育し、男女が相互に尊敬しあい、対等の協力関係を築くために努力するよう奨励することを、各国政府および民間組織に呼びかけています。

男女共同参画の実現に向けて男性と男児にも協力してもらい最良の方法は、女性と女兒に直接恩恵を与えるプロジェクトに男性と男児に参加してもらいことであると、ソロプチミストは考えています。男性と男児をソロプチミストのプログラムの受益者とすることや、女性であるというだけで女性と女兒が直面する女性特有の困難を無視することによって彼らの態度を変えられるとは、ソロプチミストは考えません。例えば、デート中暴力や健全な交際について十代の子供たちを教育するプロジェクトは、女兒（そして将来の女性）が敬意を持って扱われるようになるという恩恵を与えます。もう一つの例としては、ソロプチミストは、売春と人身売買の需要の側面にも充分に対処しています。お金で買えるセックスに対する需要と、女性と女兒をこのように取り扱ってよいという態度について対処しない限り、女性と女兒は性的隷属状態に置かれたままであると、ソロプチミストは信じています。

女性と女兒を助けること以外に、全てのクラブが集中する焦点としての使命を持つべき理由は他にありますか？

あります。組織が存続していくためには、ソロプチミストの使命とブランドが受け入れられ、正しい形で推進されることが必要です。会員、クラブ、リジョン、指導者、職員が協力して、ソロプチミストのブランドを、女性と女兒に奉仕する用意と力のある適切で進歩的組織として、新たに形作っていかねばなりません。明確なブランドは、世界中の女性と女兒に奉仕するソロプチミストの力の強化、会員の増強、寄付の増加、一般的知名度の向上につながります。これらは「ルネッサンス・キャンペーン」の4つの構成要素です。

ソロプチミストは組織全体で、女性と女兒の生活を向上させるために何を行なっていますか？

連盟プログラムとクラブによるプロジェクトを通して、ソロプチミストは女性と女兒の生活にはっきりとしたプラスの変化をもたらしています。昨年だけでも1,000人以上の女性が「ソロプチミスト女性に機会を与える賞」、合計で150万ドル以上の賞金を受け取りました。現金の賞金を提供するこのプログラムは、より良い就職の機会を得て人生を立て直し、経済的地位を向上できるように、女性が技能、研修、教育を受けるのを支援します。このプログラム開始以来、ソロプチミストは、約2,500万ドルを提供し、数万人の女性たちがよりよい生活という夢を実現するのを助けてきました。

ソロプチミストの「ドメスティック・バイオレンス終結に向けての職場キャンペーン」は、職場におけるドメスティック・バイオレンスについての理解促進を目指しています。毎年、ソロプチミストは11月25日（女性に対する暴力撤廃の国際デー）の行事への参加を勧めています。1997年以来毎年、クラブ会員たちは職場で、ドメスティック・バイオレンスのための電話相談ホットライン情報を掲載したカードを配布します。クラブは更に、直接、シェルターを支援したり、法的保護を提唱したり、虐待から逃れてきた被害者たちが新しい生活を始めるのを助けたりすることによって、ドメスティック・バイオレンスに関する理解促進やその撲滅のために活動しています。最近では、クラブは理解促進と被害者の援助のために、職場でドメスティック・バイオレンスに関する職場規定を設けるように奨励するキャンペーンを始めました。

加えて、ソロプチミストは、「ドメスティック・バイオレンス終結に向けたソロプチミスト職場キャンペーン」専用のウェブページを作り、被害に遭っている従業員、同僚、雇用主に情報や資料を提供しています。この専用ページには、キャンペーンに参加するための手引き、職場規定を実行するためのガイドライン、広報資料サンプル、ホットラインカード（この新しい専用ページのアドレスが記載されています）を注文するためのリンク、職場の問題としてのドメスティック・バイオレンスを扱ったSIA白書などその他資料へのリンクが、掲載されています。

2007年に、ソロプチミストは、性的人身売買と女性と女兒の奴隷制について取り組むべく啓発キャンペーン「ソロプチミスト人身売買防止」を開始しました。キャンペーン開始の催しは、奴隷制度廃止国際デーの12月2日（米国以外）、全米人身売買啓発デーの1月11日（米国）に行われました。ソロプチミストは、性的人身売買と性的奴隷制を廃止するために必要な最初のステップは、すべての人がその存在を理解することに始まるという理由から、啓発プロジェクトを選びました。ソロプチミスト・クラブは、予防や、より適切な法律の提唱、被害者支援などの活動にも取り組んでいます。

「女性と女兒のためのソロプチミスト・クラブ助成金」は毎年、約175,000ドルを、女性と女兒に恩恵を与える画期的なプロジェクトを開始または継続するクラブに提供しています。これらのプロジェクトの例としては、ドメスティック・バイオレンスを逃れてきた被害者たちのための就職研修とメンタリングを提供するプロジェクト、貧困女性が所得を得るための技能を身につけるのを助けるプロジェクト、開発途上国における女性と女兒の診療クリニックを開設するプロジェクト、女性と女兒の性的人身売買に関するフォーラムを開催するプロジェクト、伝統的には女性が進出していない分野の職業について女兒に教えるプロジェクトなどがあります。

これらは女性と女兒の生活を向上させるソロプチミストのプログラムのうちのほんの僅かの例にすぎません。このほか、ソロプチミストは「ソロプチミスト ルビー賞：女性を助ける女性のために」や「ソロプチミスト ヴァイオレット・リチャードソン賞」を通して、より良い世界を築くことに貢献してい

る女性と女兒を表彰しています。また、「女性と女兒のためのソロプチミスト災害援助金」を通じて、女性や女兒が、災害や戦争に備えたり、被害を受けた後に生活を立て直すのを支援しています。さらに、ソロプチミストは、地域社会の女性と女兒の具体的なニーズに対処する様々な地元プロジェクトを実施しています。地元プロジェクトと国際プロジェクトの両方を通して、ソロプチミストは女性と女兒の生活を向上させるという使命を遂行しています。

これらのプログラムが毎年どのように女性と女兒を助けているかについてもっと知るためには、SIAウェブサイトの会員専用エリアのプログラムセクションにある年間[プログラム・インパクト・レポート](#)をご覧ください。